湯沢砂防だより

No.44

平成30年10月11日

同院シンポジウムINTERPRAEVENT 2018へ参加

富山県富山市で平成30年10月1日から4日まで開催された国際シンポ ジウムにおいて、行政展示とポスター発表を行いました。

INTERPRAEVENTとは、世界各国から土砂災害を中心とした防災関係 の研究者・技術者が集まり、幅広く交流する国際防災学会で、4年に (前回2014年は奈良県奈良市で開催) 1回開催されています。

【行政展示】

タイトル:湯沢砂防事務所 事業概要

Rainfall induced slope failure risk assessment in Nobori River Basin, Japan (登川流域における降雨起因の斜面崩壊リスク評価について)

① 湯沢砂防事務所 事業概要

Yuzawa Sabo Office



湯沢砂防事務所管内では、土砂流出が活発なため、過去から土砂災害が 場所が関連者が高される。主要は出から表される。 類発しています。そのため、無沼地域を中心とする新潟県、長野県で水系砂 防事業を実施しています。 昭和14年に建設され、平成15年に登録有形文化財に登録された大源太 川第1号砂防堰堤について、老朽化や安定度不足に対する大規模な補強対

川第1号砂防堰堤について、老朽化や安定度不足に対する大規模な補強対 第工事を実施しています。 The region under the jurisdiction of Yuzawa Sabo office often was suffered the sediment disasters in the past because of a large amount of sediment discharge. We carry out the Sabo works at Nigaata and Nagano Prefecture. We have been reinforcing the Daigentagawa No.1 Sabo dam since 2015 against aging and lack stability. The Daigentagawa No.1 Sabo dam is the representative Sabo dam in Yuzawa Sabo Office. It was constructed in 1929, and designated as a registered tangible cultural property of Japan.





写真-2 大源太川第1号砂防堰堤 Photo 2 Daigentagawa No.1 Sabo Dam



写真-3 七ツ釜砂防堰堤 Photo 3 Nanatsugama Sabo Dan



写真-4 東竹沢砂防堰堤 Photo 4 Higashitakezawa ashitakezawa Sabo Dam Series



タンツ(株)の野池様(写真右)



開会式前の郷土芸能上演の様子

行政展示のポスター